



投資環境

2023年6月15日

F R B、利上げ一旦停止も、継続を示唆

— 今回の F O M C のポイント —

- ✓ 事前の予想通りの利上げ見送り
- ✓ F O M C 参加者の政策金利見通しは、年内 2 回の利上げ
- ✓ 7 月の会合での利上げ打ち止め観測はやや後退
- ✓ ただ、市場はまだ年内 1 回利上げの織り込みで、F O M C 参加者の見通しと乖離

▣ 予想通りの利上げ見送り

米連邦準備理事会（F R B）は 6 月 13、14 日に開いた米連邦公開市場委員会（F O M C）で政策金利を据え置き、昨年 3 月から続いていた利上げが止まりました。

利上げを見送ったことについてパウエル議長は、銀行破綻の影響などもまだ完全に把握できておらず、一旦利上げを見送ることで、多くの情報を点検し、再利上げの必要性を判断するのが狙いとしています。

▣ インフレ見通しを引き上げ

合わせて公表した米国経済の見通しでは、2023 年 10～12 月期の実質国内総生産（G D P）成長率は前年同期比 1.0%増と、3 月時点の 0.4%増から上方修正しました（図表 1）。

価格変動の大きいエネルギーと食品を除いた個人消費支出（P C E）物価指数は前年同期比の上昇率を 3.9%と、3 月時点の 3.6%から引き上げました。

図表1. FOMCの米国経済見通し（2023年6月）

(%)

	中央値				レンジ			
	2023年	2024年	2025年	長期見通し	2023年	2024年	2025年	長期見通し
実質GDP成長率	1.0	1.1	1.8	1.8	0.7～1.2	0.9～1.5	1.6～2.0	1.7～2.0
3月の見通し	0.4	1.2	1.9	1.8	0.0～0.8	1.0～1.5	1.7～2.1	1.7～2.0
失業率	4.1	4.5	4.5	4.0	4.0～4.3	4.3～4.6	4.3～4.6	3.8～4.3
3月の見通し	4.5	4.6	4.6	4.0	4.0～4.7	4.3～4.9	4.3～4.8	3.8～4.3
PCE（個人消費支出）価格指数	3.2	2.5	2.1	2.0	3.0～3.5	2.3～2.8	2.0～2.4	2.0
3月の見通し	3.3	2.5	2.1	2.0	3.0～3.8	2.2～2.8	2.0～2.2	2.0
コアPCE価格指数	3.9	2.6	2.2		3.7～4.2	2.5～3.1	2.0～2.4	
3月の見通し	3.6	2.6	2.1		3.5～3.9	2.3～2.8	2.0～2.2	
政策金利	5.625	4.625	3.375	2.50	5.4～5.6	4.4～5.1	2.9～4.1	2.5～2.8
3月の見通し	5.125	4.250	3.125	2.50	5.1～5.6	3.9～5.1	2.9～3.9	2.4～2.6

※国内総生産（G D P）とPCE価格指数は第4四半期の前年同期比。失業率は第4四半期中の平均値
 （出所）FRBの資料を基に、しんきん投信作成

▣ 年内 2 回の利上げ見通し

注目された F O M C 参加者の政策金利見通しは、2023 年末の中央値は 5.625%と、3 月時点の 5.125%から大きく引き上がりました（図表 2）。年内にあと 2 回、利上げを実施する見通しです。2024 年末、2025 年末についても、見通しの水準が引き上がりました。また、年内の利下げを主張した参加者はいなかった模様です。

市場では今回は利上げ見送り、7 月の会合で利上げして、利上げが終了との見方が大勢でした。年内あと 2 回の利上げ見通しはサプライズでしたが、大きな混乱はありませんでした。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : https:// www.skam.co.jp

市場が織り込む今後の政策金利の水準は徐々に引き上がってきてはいますが、まだ、7月の会合で利上げし、その後は政策金利の水準を維持するとの見方です(図表3)。

市場とFOMCとでは政策金利見通しに乖離が残る状況で、市場が今後、さらなる利上げを織り込みに行くかが注目されます。

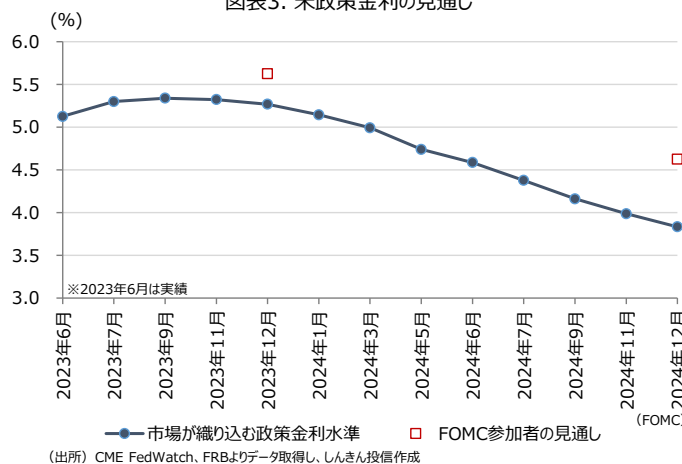
米金融政策についてはデータ次第であり、雇用統計や物価指標を確認しながら、引き続き利上げの有無を占っていくこととなります。

図表2. FOMC参加者の政策金利見通し

目標レンジの中心、目標水準(%)	・ 前回 (2023年3月) (参加者数)				・ 今回 (2023年6月) (参加者数)			
	2023年	2024年	2025年	長期見通し	2023年	2024年	2025年	長期見通し
6.125					1			
6.000								
5.875	1				2	1		
5.750								
5.625	3	1	1		9	2	1	
5.500								
5.375	3	1			4			
5.250								
5.125	10	2			2	3		
5.000								
4.875	1					2	1	
4.750								
4.625		3				2	1	
4.500								
4.375		2	1		6			
4.250								
4.125		5	1		1	2		
4.000							1	
3.875		2	1					
3.750								
3.625		1	1	1	1	2	1	
3.500								
3.375		1	2				3	
3.250				1				1
3.125			4				3	
3.000				1				1
2.875			4				1	
2.750								2
2.625			2	1			2	2
2.500				8				7
2.375			1	2			1	3
2.250				3				

(注) 網掛けは中央値
 (出所) FRBの資料を基に、しんきん投信作成

図表3. 米政策金利の見通し



(シニアストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。